



☆新刊本紹介☆

立春も過ぎ春のような暖かい日もありますが、また冬に逆戻りして寒い日もあります。このような時期を三寒四温（さんかんしおん）とも言われています。

春は別れの季節でもあり、予餞会や卒業式もせまってきましたね。



『さよなら田中さん』 鈴木るりか 著 小学館
田中花実はビンボーな小学6年生。母子家庭でありながら、底抜けに明るくたくましいお母さんと毎日大笑い、大食らいで生きている。日常の事件を鮮やかに描いた短編全5編を収録。
著者の鈴木るりかは中学生作家。



『チキンラーメンの女房』 安藤百福発明記念館 編
中央公論社
朝の連続テレビ小説「まんぷく」の主人公福子は、日清食品の創業者安藤百福の妻、安藤仁子（まさこ）がモデルになっています。インスタントラーメンの開発を夫とともに戦った波乱万丈の人生を紹介しています。



『会社を綴る人』 朱野帰子 著 双葉社
活字中毒の紙屋（32歳独身）は、何をやっても上手くいかず、派遣会社もクビになる。兄のおかげで老舗の製粉会社に就職するが、ここでも仕事ができずイジられる。しかし、文章力でなんとかしようと考え、同僚や上司の心を動かしていく。メールの文章ひとつでも心に響くものであれば、人を動かすことができる。



督促状をもらった人は、28日（木）までに返却をお願いします。